任天堂 ファミリー コンピュータ™用カセット

FS-2003G
（TFS-BK）

バード・ウィーク



取扱説明書

TOEMILAND

このたびは、**トエミランドのファミリーコンピュータ用カセット**をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に取扱い方、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

使用上の注意

1. 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。
2. 端子部に手を触れたり、水にぬらすなど汚さないでください。故障の原因となります。
3. シンナー・ベンジン・アルコール等の揮発油でふかないでください。
4. テレビ画面から、できるだけ離れてゲームをしてください。
5. 長時間ゲームをする時は、健康のため約2時間ごとに10分～20分の小休止をしてください。

バード・ウィーク

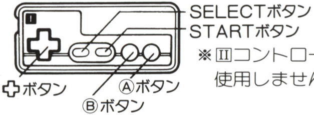
目次

1.マミーちゃんのお話し

ここはきらめく光のもと、さわやかな風がそよぐ野鳥の王国。その自然の中で、木や花を相手に暮らす鳥がいました。その鳥の名はマミー。マミーはやがて大きくなり、卵を生み、その卵がかえった時、はじめて自分が巣を作った場所が危険な所であることに気づいたのでした。さあ大変！マミーはびっくりしてしまいました。でもヒナ鳥たちはおなかがすくと大きな口をあけてさわぎます。「えいっ」マミーは巣から飛び出しました。そこにはマミーをやっつけようとする動物たちがまちうけています。マミーは逃まわりながらヒナ達にエサを食べさせているうちに、キノコがはえているのを見つけました。「そうだ、あのキノコでやっつけてやろう！」。マミーはキノコをぶつけて動物たちを気絶させることをおぼえました。それからというものマミーは、花たちが咲きほこっている春の日も、紅葉できれいな秋の日も、ヒナ達のエサを求めて巣から飛び出してゆくのでした。

2.コントローラーの操作方法

●Ⅰコントローラー



※Ⅱコントローラーは使用しません。

●✚ボタン

親鳥(マミー)を**上下左右**への移動に使用します。またSTUDY GAMEでラウンド選択する時に使用します。

●Ⓐボタン

キノコを落とす時に使用します。

●Ⓑボタン

STUDY GAMEのスタートに使用します。

●SELECTボタン

GAME STARTかSTUDY GAMEかを選択します。

●STARTボタン

GAME STARTの時に押すと、ゲームが開始されます。STUDY GAMEの時に押すと、ラウンドを選択するモードに入ります。
また、ゲーム中に押すと、PAUSEが表示され、停止状態になります。もう一度押すと、ゲームが再開されます。

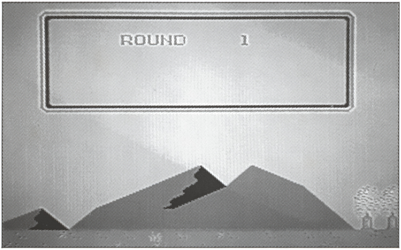
3.遊び方

●ゲーム画面

巣立ったヒナ鳥の数　得点　残っている親鳥の数



●ゲーム・スタート画面及びラウンド選択画面



●STUDY GAMEでのラウンド選択の場合

✚ボタンを↑方向に押すとラウンドが進み、↓方向に押すとラウンドが戻ります。

●スタート方法

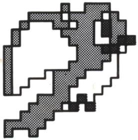
- SELECTボタンで、GAME STARTか、STUDY GAMEかを選んで下さい。
- GAME STARTでSTARTボタンを押すと、ラウンド１よりゲームが開始されます。
- STUDY GAMEでSTARTボタンを押すと、選択画面に入り自分の好きなラウンド(1〜36)を選択して、そのラウンドのみ練習することができます。

選択方法：✚ボタンを↑方向に押すと、ラウンドが進みます。
✚ボタンを↓方向に押すと、ラウンドが戻ります。
Ⓑボタンを押すと、選択されたラウンドで、ゲームが開始されます。

●ゲームの説明

- 親鳥(マミー)の残りの数が画面右上に表示されます。
  親鳥が動物たちに触れて墜落した時、またヒナ鳥が昇天してしまった時は、親鳥の数が一羽減ります。
  親鳥がいなくなったらゲーム・オーバー（終了）です。
  なお、得点が30,000点をこえると親鳥の数が一羽増えて、HISCOREに点数が表示されます。
- 親鳥はヒナ鳥に虫を与えて（１面のみ３匹、以降４匹)、巣にいるヒナ鳥をすべて成長させ巣立たさせたらラウンド・クリアになり、次のラウンドへ進みます。

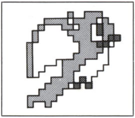
●画面左上に数字で巣立ったヒナ鳥の数が表示されます。
●3ラウンド終了ごとに、ボーナス・ラウンドがあります。一定時間のうちにトビ魚やリンゴをいっぱい取って得点を増やして下さい。
1尾(個)100点がボーナス点となります。
●STUDY GAMEの場合は、そのラウンドのみの練習という事ですから、ラウンド終了と同時にゲーム・オーバーになります。





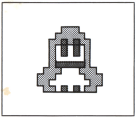
4.キャラクターの紹介

◯親鳥(マミー)



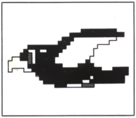
主人公の親鳥。名前は**マミー**。危険がいっぱいの自然の中、虫をつかまえてヒナ鳥達を成長させなければなりません。キノコを唯一の武器にどんな動物にも向っていく勇気もあります。

◯ヒナ鳥



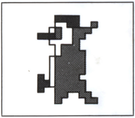
名前は**ピンキー**、**パンキー**、**ポンキー**。
おなかがすくと口を大きくあけて、エサをほしがります。早くエサをあげて成長させてね。

◯ワシ



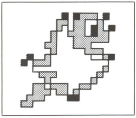
名前は**ブルート**。
はじめは、ゆっくりと飛んでいるけれど、時間がたつとだんだん速くなってくるよ。

◯キツツキ



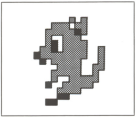
名前は**ペッカー**。
ふだんは木をつついているけど、ときどきすばやく飛んで親鳥をねらう。
飛ぶのが早いから気をつけようね。

ムササビ



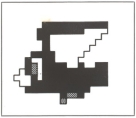
名前は**とび丸**。
いつもは木を昇ったり、降りたりしています。ときどき木と木の間を飛んで白いおなかを見せます。これでなかなかの強敵ですよ。

カンガルーネズミ



名前は**ピョン吉**。
低くジャンプしたり、高くジャンプしたりしながら親鳥をねらう。画面では可愛いいがしつこくていやなやつだ。キノコを取りに行くときは注意しよう。

ハヤブサ

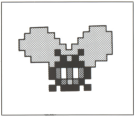


名前は**クイッキー**。
ときどき急降下して親鳥をねらう強敵だ。キノコでやっつけると、木の中からドングリが落ちてくるよ。



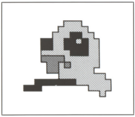
ノつこく
)で注意
もすぐに
だ。

●ハチ（2）



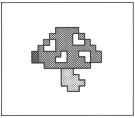
名前は**ブン太**。
ブン助の弟です。
ゆっくり左右にゆれながら親鳥をねらってくる。キノコでやっつけると木の中からドングリが落ちてくるよ。

●モグラ



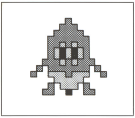
名前は**モール君**。
ときどき地上に顔を出します。すぐに地下にもぐっちゃうけれど、顔を出している時、上から頭をふんずけてやっつけよう。するとどこかにカタツムリが出てくるよ。

●キノコ



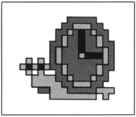
名前は**マッシュ君**。
親鳥の唯一の武器。
動物たちにぶつけると一定時間気絶させることができる。

●ドングリ



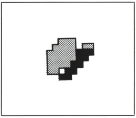
名前は**コロちゃん**。
ハヤブサ、ハチ(2)をやっつけると木の中から落ちてきて、歩いちゃうよ。
取ると親鳥は一定時間無敵になるから、じゃまな動物たちをバンバンやっつけよう。

●カタツムリ



名前は**でんでん君。**
モグラの頭をふんずけると出てくる。取ると、動物たちと虫が一定時間停止するから、そのうちに虫を取ってヒナ鳥に与えよう。

●ムシ



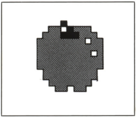
ヒナ鳥に食べさせるエサ。自由きままに飛びまわります。うまく取ってね。

●トビウオ



名前は**セスナ君。**
ボーナス・ラウンド(1)で海の中からとび出してきます。
たくさんとって得点をかせごう。

●リンゴ



名前はない。リンゴと呼んで。
ボーナス・ラウンド(2)で林の木から落ちてくる。いろいろな所から落ちてくるから、これもいっぱい取ろう。

5.ちょっとだけ、アドバイス

- ゲームの目的は、ヒナ鳥にエサを与えて成長させることです。
一見かんたんそうですが、実はそうはうまくいきません。というのはこのゲームに登場する動物たちは、あまりにも気まぐれな飛び方をしています。動きのパターンをよく考えて行動しなくてはいけません。初めのうちはエサをつかまえるだけで難しいと思えるかも知れませんが、それさえなれれば、あとは動物たちの動きを見て行動するだけです。
ガンバリましょう。
- 1〜24ラウンドは、親鳥が巣にとまっている時は動物たちにやられません。巣をうまく使おうね。
- しつこく迫ってくる動物は、なるべく巣から離れた所へおびき出して、そのすきにキノコを取ったり、ヒナに虫を与えようね。
- ハヤブサ、ハチ(2) はキノコをぶつけてやっつければ、得点がすごくふえるから、がんばってみよう。ヒナ鳥にエサを与えるチャンスもできるよ。
- ある面をクリアーすると、アッ!と驚く可愛い何かが出てくるよ。

ヒナ鳥達を育てるのはアナタです。
がんばって下さい。

GOOD

LUCK!!

●このプログラム、及び取扱説明書の内容の一部、または全部を当社に無断で複製することは、著作権法上、禁止されています。又、権利者の許諾なく賃貸業に使用することを禁じます。

●品質には万全を期していますが、万一製品に当社の責任による不良がありましたら新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責任はご容赦下さい。

●製品の仕様は将来予告なしに変更することがあります。

東芝EMI株式会社 第II営業本部

〒107 東京都港区赤坂2-2-17

TEL.03(587)9145・9148

TOEMILAND

東芝EMI株式会社

本　　社	〒107 東京都港区赤坂2-2-17 ☎03-587-9145
東京支店	〒110 東京都台東区上野7-2-9 ☎03-844-7425㈹
関東支店	〒110 東京都台東区上野7-2-9 ☎03-843-3751㈹
横浜支店	〒220 横浜市西区北幸2-9-40 ☎045-314-1941㈹
大阪支店	〒530 大阪市北区芝田町2-7-18 ☎06-376-4961㈹
名古屋支店	〒460 名古屋市中区大須1-34-19 ☎052-221-8226㈹
福岡支店	〒810 福岡市中央区天神4-2-20 ☎092-713-1251㈹
仙台支店	〒980 仙台市一番町1-12-35 ☎0222-27-8211㈹
広島支店	〒730 広島市南区京橋町1-23 ☎082-264-0245㈹
札幌支店	〒060-札幌市中央区北三条西1-10 ☎011-241-3713㈹